

第1学年 生活科学習指導案

1 単元名 たのしいあき いっぱい

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の実態

(略)

(3) 指導について

指導にあたっては、季節の変化を感じるとともに、秋ならではの自然物を使って遊ぶことのおもしろさを実感できるようにしたい。また、お互いのおもちゃや遊びのよさを伝え合うことで、共有・交流することの楽しさにも気付かせたい。そこで、児童一人一人がタブレットで撮影した自分の作品の写真を電子黒板に提示しながら、「見て見てポイント」を発表し、全体で共有できるようにする。その後に、お互いのおもちゃで遊び合うことで、創り出した遊びでみんなが楽しめることに気付けるようにしたい。

3 単元の目標

- 秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わる
こと、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付くことが
できる。 (知識及び技能)
- 秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使っ
て、遊びや遊びに付く物を工夫して作ったりできるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)
- 秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出
し、自分の生活を楽しくしようとする事ができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

4 指導と評価の計画

時	小単元	学習内容	評価規準
1 ・ 2 ・ 3	こういで あきをさが そう	・秋の校庭の自然の様子と、夏の様子の違いに気付くこと	知・技 思・判・表 色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付いている。 幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。
4 ・ 5 ・ 6	こうえんで あきをさが そう	・夏から秋にかけての身近な自然の様子の変化に気付くこと	知・技 思・判・表 身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。 秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探している。
7 ・ 8 ・ 9	はっぱやみ であそぼう	・遊びに使う自然物を選ぶこと ・試行錯誤して秋の自然を生かした遊びを行うこと	思・判・表 態度 秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選んでいる。 秋の自然と関わりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、秋の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。
10	あきのこと をつたえよ う	・夏の遊びと秋の遊びを比べること ・季節によって生活の様子が変化することに気付くこと	知・技 態度 季節によって楽しめる遊びが変わるなど、季節によって生活の様子が変わること気付いている。 季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。
11 ・ 17	あきのおも ちゃをつく ろう	・さまざまな自然物を試しながら比べ、材料を選ぶこと ・試行錯誤しておもちゃを創り出すこと	知・技 思・判・表 いつもと同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。 さまざまな自然物を試しながら比べ、材料を選び、おもちゃを作っている。
⑬ 本時 ・ 19 ・ 20 ・ 21	いっしょに あそぼう	・自分が創り出したおもちゃを紹介すること ・創り出した遊びやおもちゃでみんなが楽しく遊べることに気付くこと	知・技 思・判・表 自分が遊びを創り出したことで、みんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。 自分で遊びを創り出す面白さを実感し、発表している。

5 本時の学習指導（21時間扱い 本時18/21時間）

(1) 目標

- ・自分で遊びを創り出す面白さを実感し、発表している。（思考力、判断力、表現力等）

(2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点（配慮・手立て）◎評価 ★ICTの活用
1 既習事項を振り返る。		○前時までに活動したことを問いかけ、今まで取り組んできたことを振り返らせる。
2 本時の学習課題をつかむ。	「見て見てポイント」はどこかな。	
3 学習の見通しをもつ。		○電子黒板を使い、自分で撮影したおもちゃの写真を見ながら紹介することを確認する。 ○特に注目して見てほしいところを「見て見てポイント」として発表することを伝える。
4 おもちゃを紹介する。	○おもちゃの紹介 ・工夫したところの伝え方 ・遊び方 ・友達の発表を聞く視点	★児童が撮影した写真を電子黒板に提示する。 ○基本的な話型を提示し、すべての児童が発表しやすくなるように配慮する。 ○友達の発表を聞くときの視点も提示する。 ◎自分で遊びを創り出す面白さを実感し、発表している。（思考・判断・表現）【発言、行動観察】
5 みんなのおもちゃの違いを比べる。		★電子黒板に、何人かのおもちゃの写真を並べて提示し、類似点や相違点等を見付けられるようにする。 ○同じ材料やおもちゃでも、工夫の仕方によって出来上がりが違うことを確認する。
6 グループでおもちゃを交換し、遊ぶ。	○工夫や違いの気付き 〈予想される反応〉 ・どんぐりの量によって、マラカスの音が違う。 ・同じ材料を使っているにもかかわらず、飾り付けによってイメージが変わる。	○友達が作ったおもちゃで遊ぶ時、乱暴に扱わないように伝える。 ○友達が作ったおもちゃの工夫や特徴に気付けるようにする。 ○質問や感想なども交流できるようにする。 ○各グループや一人一人の児童の実態に応じて、助言する。 ○自分たちが創り出したおもちゃで遊ぶことで、みんなが楽しくなることに気付けるようにする。
7 本時の振り返りをし、次時の学習を確認する。		○自然物を使って遊びを創り出すよさや、友達と関わりながら遊ぶ楽しさなどを振り返る。 ○次時は、自分が気になった友達のおもちゃで遊ぶことを伝え、見通しを持たせる。

6 板書計画

〈黒板〉

たのしい おもちゃ いっぱい!
「見て見てポイント」はどこかな。

電子黒板

はなす

①わたし/ぼくは、〇〇をつくりました。
②~をくふうしました。
③~あそびます。(あそびかた)

きく

- ・どんなざいりょうをつかったのかな。
- ・にているおもちゃはあるかな。
- ・どこをくふうしたのかな。

〈電子黒板〉

①

児童の作品の写真

②

児童Aの作品
の写真

児童Bの作
品の写真

児童Cの作
品の写真

児童Dの作
品の写真